

米子地区防火安全協会

会報



第8号

米子地区防火安全協会

米子市両三柳5452番地
鳥取県西部広域行政管理組合消防局内
TEL.0859-35-1970 FAX.0859-35-1961

平成27年8月

用紙/王子製紙株式会社 印刷所/東京印刷株式会社



ご挨拶

米子地区防火安全協会

会長 宇野 松人

残暑の候、会員の皆様には当協会の運営につきま
してご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

また、消防機関・各団体の皆様におかれましては、
当協会の事業運営に対し格別のご指導、ご理解を賜
り、厚く御礼申し上げます。

6月に平成27年度定期総会を開催し、事業計画及
び予算案についてご承認をいただいたところですが、
平成24年以來の先進地視察研修事業をはじめ、当協
会として引き続き、地域の防火・防災思想拡大の一
助となるよう事業を推進していきたいと思ひます。

また、啓発活動の一環として協会長表彰を行い、
危険物関係事業所のみならず、会員事業所全体にお
ける継続的な保安体制の確立を願っているところで
ございます。

近年、化学工場の爆発事故をはじめ、病院、福祉
施設、ホテル等での火災等で多数の死傷者が発生す
る事故が相次いでおり、今まで以上に事業所の保安・
防災体制が問われるようになってきております。

当協会会員事業所においては、大きな事故は発生
しておりませんが、法令の遵守はもとより、常日頃
の保安防災体制を確実にを行うことの重要性が増して
おります。

当協会といたしましては、今後も災害や事故など
の発生を防止し、万が一発生した場合の被害を最小
限度に抑えるため、行政機関や事業所、地域などが
連携し総合的な防災力の強化向上を図るための防火・
防災事業に取り組んでいきたいと思ひておりますの
で、皆様の更なるご理解とご協力を賜りますようお
願ひ申し上げます。



平成27年度 危険物安全週間推進標語

無事故へと 気持ち集中 はっつけよい



平成27年度 全国統一防火標語

無防備な 心に火災が かくれんぼ

平成27年度 定期総会

平成27年6月23日(火)に、鳥取県西部広域行政管理組合消防局において、平成27年度定期総会を開催いたしました。

当日は、来賓として米子市長 野坂康夫様をはじめ、米子市議会議員 渡辺爾様、米子商工会議所専務理事 松本順次様、米子市自治連合会会長 松本眞様、鳥取県西部広域行政管理組合消防局長 木山文也様ご臨席のもと、多数の会員様にご出席いただき、大場副会長の開会宣言で定期総会が開会されました。



会員事業所からは48名の皆様にご出席頂き、議事が審議され、全議案について可決、承認されました。

平成27年度定期総会は坂口副会長の開会宣言で閉会されました。

★協会長表彰★

定期総会において会長表彰が行われ、功労者表彰・危険物優良事業所表彰・優良事業所表彰・危険物優良取扱者表彰の表彰状が授与されました。

◎功労者表彰

宇田川 英一様
(皆生温泉旅館組合 組合長)

◎危険物優良事業所表彰

大山ロイヤルホテル 様

社会福祉法人 光生会

米子ワークホーム 様

◎優良事業所表彰

米子機工 株式会社 様

◎危険物優良取扱者表彰

亀高 健一様
(NOK株式会社 鳥取事業場)

木村 亨様
(木村兼義商店 代表取締役)

平成27年度 全国危険物安全大会

6月8日(月)東京都「スクワール麹町」にて、平成27年度全国危険物安全大会が開催され、当協会から、寿製菓株式会社表彰されました。

★一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰

優良危険物関係事業所 寿製菓株式会社



鳥取県危険物保安協会連合会理事会及び危険物安全大会

平成27年6月12日(金)、倉吉シティホテルにおいて、鳥取県危険物保安協会連合会理事会及び危険物安全大会が開催されました。

【理事会】

午前11時より理事会が開催され、理事として当協会宇野松人会長(米子瓦斯株式会社 代表取締役社長)、上田博久副会長(株式会社米子青果 代表取締役社長)にご出席頂きました。

【危険物安全大会(表彰式)】

午後1時20分より表彰式が行われ、鳥取県知事表彰及び鳥取県危険物保安協会連合会会長表彰を次の皆様が受賞されました。

★鳥取県知事表彰

危険物優良取扱者表彰

森田 聡様

(日ノ丸産業株式会社 米子支店)



★鳥取県危険物保安協会連合会 会長表彰

危険物保安功労者表彰

矢倉 和彦様

(王子製紙株式会社 米子工場)



危険物優良事業所表彰

特定医療法人財団 同愛会 博愛病院様



受賞されました皆様、
本当におめでとうございました。

★先進地視察研修について★

今年度、米子地区防火安全協会事業として、平成24年度以来の先進地視察研修を計画いたしました。

目的は阪神淡路大震災から今年で20年がたち、この節目の年に、改めて防災に対する見識を再確認することを目的として実施いたします。

会員の皆様には、ふるってご参加頂きますようお願い致します。

なお、詳細につきましては、別途案内いたします。



消火競技会の開催について

来る平成27年10月15日(木)に境港市消防保安協会主催「第36回事業所対抗消火競技会」が開催されます。この事業につきましては近年、事業計画の一つとして、当協会会員事業所の皆様にご参加頂いております。

事業所における防火意識の高揚と初期消火技術の向上を目的として、毎年開催されているものです。

前年度に引き続き、1チームでも多くの会員事業所の皆様にご参加頂きますようご案内いたします。

詳細につきましては、別途案内いたします。



新入社員防災研修会

平成27年6月9日(火)、10日(水)に西部消防局において新入社員防災研修会が開催されました。1日目80名・2日目88名で、合計168名の職員の皆様に()参加頂きました。

研修会は、例年同様防火管理の重要性についての講義を受けた後、実務研修として4班に分かれて避難器具の取扱訓練、煙体験訓練、屋内消火栓及び訓練用水消火器による初期消火訓練の実施、指令センターの見学、AEDの講習を行いました。屋内消火栓や水消火器の実務研修では、実際にホースや消火器を使って放水体験をして頂き、初期消火の必要性や防災・防火意識の高揚につながったと思います。



教養研修(防火管理の重要性について)

参加者の感想

鳥取大学医学部附属病院

【稲葉 美華さん】

6月9日の新入社員防災研修会では、講義と実技の研修に参加させて頂きました。

最初の教養研修では、火災の原因は放火が多く、家の周囲の「人目につきにくい」、「燃えやすいものが放置されている(整理整頓されていない)」などの場所が狙われやすいこと、また、家の中では「コンセントに何か(ホコリなど)が被る」や「コードを束ねる」などは熱を貯めやすくなり出火の原因になることを学びました。火災の原因はすぐ身近にあるが、気



実務研修(煙体験)

をつければ防ぐことができ、また、これを継続していくことが大事であると認識しました。

実技で印象的だったのは煙体験です。建物内で自分の足元もはっきり見えないほど暗く煙が充満しているなか、非常口を目指して進む体験は想像以上に恐怖を感じ、軽いパニック状態になるほどでした。火災が起こっても冷静に対処できるように日頃から避難経路や消火設備の確認が大切だということを改めて認識しました。

研修をきっかけに防災意識を高め、日ごろから考える良い機会となりました。ありがとうございました。

シャープ 米子株式会社

【尾形謙史郎さん】

今までに、あまり実践的な防災訓練を



実務研修(屋内消火栓で放水体験)

したことがなかったため、今回の研修での実技体験はとても新鮮でいい体験になった。AEDの使用方法以外は初めての体験だった。その中で一番印象に残ったのは煙が蔓延した部屋の疑似体験で、壁伝いに歩いて行かないとどこかを歩いているのか、何があるのか、視覚による情報が全く役に立たないほどの悪条件だということに驚いた。本物の煙だと黒くてもっと何も見えないと聞いて衝撃的だった。

今回のような研修を受けていないと、実際に火災が発生した際に、とっさに何をしたらいいのかわからない状況に陥ってしまうと思う。ただこの研修も、一度受けただけでは知識が曖昧だったり、器具の使い方を忘れてしまったりと、完全には身につけていないと思う。身につけるには、研修を定期的に行ったりすることが重要だと感じた。今後は自分自身、



実務研修(訓練用消火器で放水体験)



実務研修 (AED講習)

機会を見つけて積極的に参加していき
い。

【清水 和紀さん】
 教育研修では最近の建物火災の半数を占めている1番の原因は放火ということに驚きました。放火なら対策のしようがないのですが、環境を整えることで放火をされにくく出来るそうです。しかし、オフィスだけで見ると火災の1番の原因は電気器具火災でした。電気器具火災とは延長コードなどのコードを束ねてその束ねた部分に熱がたまり発火、コードをイスなどで踏みつけてコードの被覆が破れてそこから発火、コンセントとプラグの間に埃がたまりその埃が水分を持つことにより発火するトラッキング火災などがあります。この火災をビデオで視聴したのですが、トラッキング火災の発火は一瞬ですが周りに物があるとすぐに燃え

移って規模が大きくなっていきます。電気器具火災を防ぐには定期的に清掃をする、プラグの抜き差しにはコードを持つだけでなくプラグ本体を持つ、コードを束ねたりねじったりしない、使わないものはプラグを抜くなどのことが大事です。なので、まず自分の周りから例えばデスク周りを綺麗に整理整頓することから始めようと思います。

実技研修では普段体験できない避難器具や消火器具、煙体験などを体験しました。避難器具体験では実際に3階から垂直式救助袋というもので地上まで降りました。落下速度は自分で調整出来るので安全に避難が出来ると思っています。煙体験では煙の充滿した部屋を通って非常口を目指すものでした。入口はまだ煙が少ないので先が見えていましたが、奥に進むにつれて足元しか見えなくなっていました。煙体験の煙は舞台などで使う白い煙でしたが、実際の火災現場では煤などが混ざった黒い煙でこれよりもさらに見難くなるということです。

防災研修会でさまざまなことを学び体験することで有意義な時間を過ごすことが出来ました。ここで学んだことを生かして業務に努めます。

【中田 直也さん】
 火災はなにげないことが原因で起こるということを再認識し、火を出さないという環境を作っていくことが大事だと思います。

防火管理者選任シールの配布について

今年度の新規事業として、消防法第8条に該当する防火管理者の選任が必要な事業所へ、防火管理者選任シールを無料配布致します。是非、会員事業所の玄関・入口等の目につく場所に貼って頂き、ご活用ください。なお、防火管理制度の詳細につきましては、同封の「防火管理者制度の概要」をご覧ください。



シール貼り付けイメージ



シール(縦13cm・横18cm)

平成27年度 防火管理講習会について

西部消防局主催の防火管理講習会を開催いたします。(第1回、第2回は終了)

前年度より、受講料を事前に指定口座(ゆうちょ銀行)へお振り込みいただくように手続きが変更となっております。詳細につきましては当協会ホームページでご確認の上、受講申し込みをお願い致します。

1 甲種防火管理新規講習(定員90名)

講習回数	講習日	申込期間
第3回	11月17日(火)・18日(水)	10月28日～11月4日
第4回	平成28年3月10日(木)・11日(金)	平成28年2月15日～2月22日

2 甲種防火管理再講習(定員90名)

講習回数	講習日	申込期間
第1回	12月4日(金)	11月9日～11月20日

危険物取扱者試験準備講習会について

6月7日(日)の第1回危険物取扱者試験に併せ5月18日・19日の2日間開催されました。

2日間の日程で試験対策に特化した講習内容で開催され、当準備講習会を受講されました方の合格率が**乙4は46.2%、丙種は100.0%**でした。合格されました皆様、おめでとうございます。

次回の準備講習会は、10月25日(日)に実施されます第2回の試験に向け9月に開催予定としています。詳細につきましてはホームページでご確認下さい。

平成27年度 危険物取扱者試験 結果報告

第1回	乙4 合格率	丙 合格率
講習受講者 (全体平均)	46.2%	100.0%
鳥取県平均	23.4%	52.5%

乙4・丙種とも鳥取県平均を大きく上回る合格率となりました。

日時及び受付期間

講習種別講習種別 及び定員・講習回数	講習日	受付期間※
乙種第4類 (定員100名)	第2回	平成27年9月29日(火)・30日(水)
	第3回	平成28年1月14日(木)・15日(金)
講習時間は、2日間とも午前9時～午後5時まで (受付開始8時50分～)		
丙 種 (定員30名)	第2回	平成27年10月2日(金)
	講習時間は、午前9時～午後5時まで (受付開始8時50分～)	

※ 講習会前日まで受付いたします。

事務局より

★新規会員のお知らせ★

チロル観光様が新たに加入されました。(平成27年4月1日加入)

★会費の納入について★

平成27年度の年会費につきましては、大変恐れ入りますが、9月11日(金)までに納入して頂きますようお願いいたします。

なお、お振込やご持参等による納入が困難な場合につきましては、事務局員が集金に伺いますので、ご一報願います。

米子地区防火安全協会事務局 TEL: 0859-35-1970 (担当:古志)

●メールアドレス: y-fpsa@yonago-kyoukai.sakura.ne.jp

●ホームページアドレス: <http://www.y-fpsa.jpn.org/>

